

6. 2008年度日本数学会賞建部賢弘賞の授賞について

第13回にあたる本賞の2008年度授賞者の推薦募集は、会報127号で行いました（「数学通信」第12巻第3号）。受賞者と業績は次の通りです。（五十音順、敬称略、所属は受賞時点のものです）

特別賞

川口周（阪大理准教授）：標準的高さの理論
加藤淳（名大多元数理准教授）：調和写像分散流の初期値問題の適切性の研究
矢野孝次（神戸大理講師）：Excursion 測度と極限定理への応用

奨励賞

戸松玲治（学振特別研究員PD（東大数理））：
作用素環的量子群の研究
前川泰則（九大数理助教）：渦度方程式の数学解析
村井聡（学振特別研究員PD（阪大情報））：
ジェネリックイニシャルイデアルと単項式イデアルの有限自由分解の研究
富田直人（学振特別研究員PD（東京女大文理））：モジュレーション空間に関する基礎研究